

『じっくり観察 特徴がわかる コケ図鑑』 お詫びと訂正

本書で記載されている内容に誤りがありました。読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきます。

●50 ページ 和名の漢字表記

誤：縦襞蘚

正：立襞蘚



誤：群落の形が小さな玉のように見えるからだろうか。

正：旧制山口高等学校の教授・児玉親輔(1884~1947)にちなむ、とも。

●101 ページ

写真 A の天地を訂正

●115 ページ 右段 2 行目

誤：サワクサリゴケの腹葉は

正：サワクサリゴケの腹片は

●118 ページ

写真 A の天地を訂正

●144 ページ

メインの写真とキャプションを下記に差し替え



岩壁に生えた群落。葉は乾くと巻縮する。
(福井県、7月)

●146 ページ

誤：チョウチンゴケ類はヌルデに寄生し、お歯黒の材料となるアブラムシの幼虫の食草になる。



正：種小名はフィンランドの生物学者 Risto Tuomikoski(1911-1989)にちなむ。

※元の文章が不正確なため差し替えた。「お歯黒の材料となるヌルデの虫こぶは、ある種のアブラムシが寄生することで誘発される。そのアブラムシの幼虫はチョウチンゴケ類を食草とする」が正しい解説となる。

●192 ページ 和名の漢字表記

誤：縮茎苔

正：縮梗苔

●204 ページ

スケール写真を
右記に差し替え

※初版のスケール写真はゼニゴケ。



写真 C を
右記に差し替え

※現在ジャゴケとされている種は近い将来 4 種に分かれる可能性があり、本書ではその中でオオジャゴケになるとされている種の写真を紹介。



●217 ページ



誤：スギゴケ類は

正：スギゴケ類には